

立川市史編さん委員会	
令和 7 年 8 月 5 日	
資料番号	4

立川市史編さん関連講演会実績

年度	関連講演会担当部会、内容等	刊行物
平成 27 年度 (第 1 回)	白井委員長「市史」を編むということ 平成 28 年 3 月 27 日たましん事業支援センター	
平成 28 年度 (第 2 回)	<u>近代部会／民俗・地誌部会</u> 「近現代立川の発展と伝統文化」 平成 29 年 3 月 20 日女性総合センター	
平成 29 年度 (第 3 回)	<u>先史部会／古代・中世部会</u> 「向郷遺跡と多摩の中期縄文文化」 「鎌倉時代の立川氏」 平成 30 年 3 月 11 日女性総合センター	調査報告書 近世偏 1
平成 30 年度 (第 4 回)	<u>近世部会</u> 「江戸時代多摩地域の村社会」 平成 31 年 1 月 19 日女性総合センター	資料編 地図・絵図 調査報告書 先史編 1 調査報告書 民俗・地誌編 1
平成 31 年度 (第 5 回)	<u>現代部会</u> 「米軍基地と砂川・闘争までの道のり」 令和 2 年 1 月 19 日女性総合センター	資料編 古代・中世 資料編 現代 1 資料編 柴崎の民俗
令和 2 年度 (動画配信)	<u>民俗・地誌部会</u> 「暮らしのなかの祭りといのりー『資料編 柴崎の民俗』から」	資料編 近世 1 資料編 近代 2 調査報告書 民俗・地誌編 2
令和 3 年度 (動画配信)	<u>近代部会</u> 「大正・昭和の記録にみる立川の暮らしー『資料編 近代 2』からー」	調査報告書 先史編 2 調査報告書 先史編 3
令和 4 年度 (第 6 回)	<u>先史部会</u> 「考古学と自然科学で読み解く先史時代の立川」 令和 4 年 12 月 11 日女性総合センター	資料編 先史 調査報告書 古代・中世編 1
令和 5 年度 (第 7 回)	<u>古代・中世部会</u> 「中世立川の石造物」 令和 6 年 1 月 21 日女性総合センター	資料編 砂川の民俗 資料編 写真集
令和 6 年度 (第 8 回)	<u>現代部会</u> 「立川のまちづくりをふりかえる」 令和 7 年 3 月 2 日たましんリスルホール	資料編 近代 1 資料編 現代 2
令和 7 年度 (第 9 回)	<u>近世部会</u> 令和 8 年 3 月 1 日女性総合センター	資料編 近世 2

部会が単独で担当するのは令和 7 年度まで（単独で成果等を報告したい部会がある場合はこの限りでない）。

立川市史編さん関連講演会今後の計画たたき台（案）

年度	関連講演会担当部会、内容等（案）	刊行物
令和 8 年度 （第 10 回）	著名な方 2 名による講演会	通史編（下巻）近代・現代 民俗・地誌編（仮称）
令和 9 年度 （第 11 回）	公文書の保存・活用についての講演	通史編（上巻）先史～近世
令和 10 年度 （第 12 回）	事業全体の総括、成果や事業後の課題等を テーマに、白井委員長及び全部会長による シンポジウム	テーマ編 近代編（仮称） テーマ編 現代編（仮称） テーマ編 普及版（仮称）

これまでの編集委員会議及び編さん委員会等での主な意見

- ① 令和 8、9 年度は通史編の編さん時期であり、これまで講師を務めてきた委員が執筆にかかりきりになるため、編集委員の労力を減らす意味でも、外部講師を招いたらどうか。
- ② 令和 7 年度までの調査成果の報告という形から発展して、令和 8 年度以降は、今後に生かすためのまとめや問題提起としての企画を検討したい。
- ③ これまで歴史の専門家が講師を務めてきているので、自治体が市史編さんの成果をどう活用できるかという実例を話せる人を呼ぶのはどうか。市史の成果を踏まえて資料館などを整備した事例はあるので、全史料協関東部会などに頼めないか。
- ④ 事業後の課題等について公表できるタイミングを見計らって、市長に登壇してもらう。